

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月17日

【評価実施概要】

事業所番号	4270800289
法人名	医療法人社団 壮志会
事業所名	グループホーム ゆうゆう
所在地	〒859-4752 長崎県松浦市御厨町里免397番地10 (電話)0956-41-7878

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年9月12日	評価確定日	平成20年10月14日

【情報提供票より】(平成 20年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤(専任)14人, 非常勤	人, 常勤換算 4.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,100 円	その他の経費(月額)	3,000円・実費
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	790円	

(4) 利用者の概要(平成 20年 4月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.8 歳	最低	58 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	押淵病院 ・ 高島歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療と福祉が連携したホームであり、入居者・家族等の期待する条件を兼ね備えたホームでもある。法人組織が大きく、入居者等と職員の関わりにも細心の注意が必要になってくるので、今回は、【施設では】【ホームでは】【家庭では】についての話し合いも取り入れさせてもらい、少人数で、家庭的な環境の中でのホーム生活の提供を再度振り返り、業務内容の点検に繋がられていた。聞き取りの最中も、熱心にメモを取られたり、課題点やリスクへの取り組みも積極的に話され、質の向上へ向けた意欲の高さを感じられ、入居者の表情の豊かさも印象的なホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の取り組み期待項目の1つでもある改善計画シートの作成では、改善目標の設定、具体的な取り組み内容等で意識付け・方向性が明確化され、それに対する期間設定と一部は評価まで至っている。その中で、一番の成果は運営推進会議の開催である。松浦市の介護保険の担当者のアドバイスを受けながら、今年4月から2ヶ月に1回開催されている。尚、前回の取り組み期待項目で取り組んでいない又は改善に至っていない項目は継続して取り組まれることが望まれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>母体組織との連携が大きいこともあり、自己評価項目の内容によっては現場職員だけでは回答しにくいところがあると、正直な見解をお伝えいただいた。そのような状況下で、現場職員として可能な限りの自己評価の取り組みに全員で当たられ自己評価票を作成されている。当該項目は、前回の取り組みを期待したい項目でもあり、昨年に引き続き事務長同席で外部評価に臨まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>松浦市介護保険担当者のご尽力もあり、今年度4月の開催を皮切りに、2ヶ月に1回の開催で順調な滑り出しである。会議の議事録からは、ホームの回答不足は否めないものの、内容から【地域住民力の活用】に繋がる担当者のさりげない指導・助言が感じられ、会議運営や議題、会議進行等の見守りを受けながら協働した開催に繋がられている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>たより又は、面会時の報告や変化時の連絡以外にも、携帯電話等を持たれている入居者が孫や子供とメールや電話でやり取りをされているのを見守り支援されており、家族等との継続した関係も大事にされている。今後は、更に家族との信頼関係を深め、意見の反映に繋がりたい意向を持たれている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会活動等を通じた交流は、努力していく必要があるが、ホームに面した通学路での【挨拶運動】で学生との交流の機会が増えている。近隣中学校の学校教育の一環とホームの地道な取り組みが実を結び【触れ合いタイム】が7月に実施されている。学生による寸劇と合唱が披露され、10月の開催予定日の連絡も入っており、カレンダーに記されている。</p>

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初の共通理念は、ユニットごとのサービス提供の経過と共に文言に若干の相違が生じ、昨年までの理念に「ケアスタッフと共に出来る事(家事等)を行い、地域事業に参加し、共同生活を楽しむ」の文言を追加・見直しされている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員間で話し合いをされ、自分たちに不足しがちな「ゆったり」の具現化に向けて、ゆとりのある介護を目指した取り組みに努められている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との自治会活動等を通じた交流は、努力していく必要があるが、ホームに面した通学路での【挨拶運動】で学生との交流の機会が増えている。近隣中学校の学校教育の一環とホームの地道な取り組みが実を結び、【触れ合いタイム】が7月に実施されている。学生による劇と合唱が披露され、10月の開催予定日の連絡も入っており、カレンダーに記されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	母体組織との連携が大きいこともあり、自己評価項目の内容によっては現場職員だけでは回答しにくいところもあると正直な見解をお伝えいただいた。そのような状況下で、現場職員として可能な限りの自己評価の取り組みに全員で当たられ自己評価票を作成されている。当該項目は、前回の取り組みを期待したい項目でもあり、昨年に引き続き事務長同席で外部評価に臨まれている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	松浦市介護保険担当者のご尽力もあり、今年度4月の開催を皮切りに、2ヶ月に1回の開催で順調な滑り出しである。会議の議事録からは、ホームの回答不足は否めないものの、内容から【地域住民力の活用】に繋がる担当者のさりげない指導・助言が感じられ、会議運営や議題、会議進行等の見守りを受けながら協働した開催に繋がられている。		

グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	書類等の提出で市の担当課へ赴くことはあるが、事務的なことが多く、現在は運営推進会議を通しての関係構築の段階であると心得されており、徐々に行き来できるような関係にしていきたい旨を告げられた。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	たより又は、面会時の報告や変化時の連絡以外にも、携帯電話等を持たれている入居者が、孫や子供とメールや電話でやり取りされているのを見守り支援されており、家族等との継続した関係も大事にされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書にホームや公的機関の相談窓口又は、担当者名と電話番号の他に対応措置内容等が明記されており、入居時に説明されている。これまでに、大きな苦情はないが、入居者自身に対する注意点や要望など伝えられたことは支援されている。今後は、更に家族との信頼関係を深め、意見の反映に繋げたい意向を持たれている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	定期的に年に1回、法人内で異動をされているが、外部評価当日、事務長を交えた話し合いの場で、「様子を見た上で、必要に応じた対応の用意もあり、状態を見て異動の周期も検討します」と現場環境に配慮した回答が伝えられた。尚、現場では、新任の職員へのサポートを心がけられ環境の変化に伴う入居者へのダメージを最小限に抑えるよう努められている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は段階に応じた研修を受講されており、受講後は報告書の作成と職員会議での報告又は伝達講習で研修内容の共有に繋がられている。また法人内の研修も必要に応じて受講されている。尚、新任の職員に関しては法人内の施設での研修後、ホームに配属されている。母体医療関係者からは医療面での適切な指導も受けられている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	これまでは、親しくしているグループホームとの交流も相談程度であったが、現在は、計画作成担当者間での事例検討にまで進展している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	法人内施設利用からの入居率が高く、入居予定者に対してはホーム職員が出向いて顔馴染みの関係を構築したり、ホームの日中体験入居の支援でホームや入居者の雰囲気慣れてもらうなど、リロケーションダメージ等の軽減を考慮した取り組みをされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者本人がこれまで歩んでこられた人生の継続支援として、残存能力に焦点を当てたその人のあるべき姿が投影された一人ひとりの生活が、共同生活の中に反映されている。訪問した日も、仏教関係者だった入居者の悟りの言葉に、他の入居者と一緒に興味を示され、話す方も話を聞く方も表情豊かに会話の輪を拓けられている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	基本的なホーム生活の流れの中に、入居者の趣味や癖が活かせるときや、身体状況の変化に伴う希望の聴取にも、笑顔で寄り添い、1問1答の姿勢で臨まれている。入居者も安心した表情で自分の意見を臆することなく伝えられており信頼関係を窺い知ることができる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者担当職員の必要に応じたアセスメントの取り直しと、作成した介護計画案を基に職員会議で話し合い、参加職員等の意見やアイデアを反映した介護計画を作成されている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に3ヶ月に1回の見直しがされており、変化時はその都度の見直しで、入居者の現状に即した介護計画の見直しに努められている。見直し時に新しい介護計画へ移行する場合は、必ずアセスメントの取り直しをされている。サービス内容に対しての評価で目標達成又は終了を判断されている。		

グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体が医療法人ということもあり、入居者や家族の最大の期待と安心に繋がる適切な医療・福祉がホームを介して提供されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院の診療科目以外の院外のかかりつけ医との医療連携もされており、家族又は職員の同行受診で支援されている。又、医療連携体制加算を導入されていることもあり、医師又は看護師による入居者一人ひとりの健康管理も行き届いている。尚、家族同行受診時のホーム職員への受診結果等の報告のあり方の見直しが課題となり検討されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に本人や家族の意向は聞かれており、殆どの方が『過ごせる間はホームにお願いし、最後は病院で』の形を望まれており、インフォームドコンセントを取り入れた本人・家族の安心感に繋がる対応を心がけられている。尚、ホームでの看取りを希望された場合は、家族への精神面でのケア・配慮も心得られている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の生活歴や生活環境を可能な限り受け入れて支援されている。訪問当日の居室視察時も、入居者の「汚い部屋ですけど、見てください」の言葉に対して「自分の住みやすいようにしていいですよ」「着替えられましたか」「洗濯しましょうか」「持っていてもいいですか」と一回一回、入居者の表情を見ながら確認されており、生活習慣の中にも礼儀があるように感じられた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なホーム生活の流れの中に、入居者一人ひとりの生活ペースが取り入れられている。訪問した日の昼食後も、居室で趣味の音楽を聴いて寛ぐ人や昼寝をする人、リビングで談笑する人、洗面所を掃除する人、リハビリ受診に「出かけてきます。」と、声かけて出かけられる人など人間模様と躍動感のある昼下がりの風景である。		

グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と食事介助の職員がテーブルを囲み、他の職員はカウンターの奥で片付け等されており、時々、入居者の食事の様子を観察し、声かけ誘導されているが、食事を楽しむ環境とは言い難い雰囲気である。又、買い物も職員が時間外に行かれることが多い。	○	食生活の見直しの一環として、まずは、入居者と職員と一緒に食卓を囲んで、食事を楽しめる雰囲気・環境づくりが望まれる。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お気に入りの入浴剤を入れて入浴を楽しまれる方があり、他の入居者も利用させてもらっている。職員も入浴拒否者も含めて入居者が楽しめるような入浴支援として、ガーゼの浴衣をバスローブに、温泉がテーマの音楽を流す、花を浮かべてアロマ浴等、検討されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月末に家へ帰れると信じて生活されている人、居室にポットを置いてコーヒーやお茶等を楽しむ人、毎夜9時に娘からの電話があり、血糖値の報告等される人、入居者の悩み・相談を受ける人、ワープロで日記を書く人、ビデオ撮影し・映写会など、入居者一人ひとりの信念、能力等を肯定した支援で入居者の生きがい、役割に繋がられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム近くのお店が開店するまでは、入居者と職員で連れ立って買い物を兼ねた散歩を楽しまれていたが、現在は、挨拶運動で玄関先に出られたり、プランター等への水やりなど限られた範囲での支援に止められている。又、外出の支援を家族に依存されているため、入居者間で頻度等の格差が生じている。調査当日、法人内のマンパワーの利用についてご回答された。	○	家族との外出の支援も大事な取り組みではあるが、入居者の力量に応じた個別又は少人数の日常的な外出の支援と法人内のマンパワーを利用した集団外出の支援が望まれる。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在、2階の玄関は、安全面を考慮して片面施錠(入室は開錠、外出は施錠)されているが、昼間だけ、もしくは徘徊の該当者がいない時は施錠を解除した状況に出来ないか善処策を検討中である。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は消防署の指導を仰いだ立会い訓練と自主訓練をそれぞれ1回ずつ開催されており、今年は、新人職員の雇用があったので自主訓練を再度されている。防災訓練に関連しての意見・気づきは運営推進会議の中で、松浦市の介護保険担当者から伝えられており、的確な指導を頂かれている。		

グループホーム ゆうゆう

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の体調や罹患等の状態に応じた食事形態や食事量の提供をされており、食事摂取量なども把握され、不足を感じた場合は、おにぎりにして後で食してもらえるよう工夫されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の状態や生活動線に配慮してソファや椅子等の配置がなされており、装飾や花生けで季節感を演出され、煮炊きの匂いや音で五感への刺激はあるものの、テレビ視聴やお喋り以外での入居者間の集いや独り居の支援に繋がる環境の提供不足は否めない。	○	リビングなどの集いの場所で、入居者が自由に娯楽や趣味が楽しめる環境・物品の提供等が望まれる。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室からは、入居者一人ひとりの状況や趣味、性格などを通した生活感を窺い知ることができる。本人が生活しやすいように配置・支援されている。居室を見せて頂いた時も、本人さんが気持ちよくにこやかに説明してくださってお見送りいただいた。		